

牧師所感： 牧師所感の読者諸賢に感謝 — 初版より今日に至るまで—

「私が 牧師所感を書く動機になったのは、信仰告白した多数の会員が 事情によってどこかへ行った後、或る人から、教会の消息が知りたいとの連絡が来ました。それで 毎週発行する週報に『牧師所感』を書くことにしました。そして郵便で、希望する人々に送り届けるようにしました。今日では、日本各地に在住の知人たちに 送り届けています。」

さて 所感 2009～2012年の3年分を1冊にして、2015年7月に発行する。その後 3年分を1冊に②を発行、そして③を、そして④を発行する。

とりわけ 牧師所感は主に、日本の教会の牧師様の推薦を受けて、信徒の皆さんに配布している。然るに 牧師所感は非売品で、伝道の為に発行されていることを 強く訴える。只 いのちのことば社で 発行されているので、社の命に従って 2000円（税金含む）という価格を表示しているに過ぎない。既に 所感は 2009年～2021年まで 4冊発行されている。

ところで、年老いた（91才）韓国人の牧師として、神に召されるまで、文書伝道の書物として お読み下されば、この上ない光栄であると考える。

さて、筆者が尊敬して止まない 千葉県のギデオン協会の大橋 康夫長老 御夫妻様は、所感1号～4号（13年間）までを誠を持って愛読して下さり、喜びに堪えられない。

また 筆者の尊敬する 鄭 孝相（チョン ヒョウサン社長）様は、所感1冊より4冊までお読み下さり、筆者を励まして 勇気を、奮い起こして下さった。

以下は氏の散文

拝啓

申鉉錫牧師様、明けましておめでとうございます。

先日はご著書「牧師所感」ⅡⅢをお贈り下さいまして誠にありがとうございます。読むのがとても楽しみです。私の先生のご本の読み方は、他の本とは全く異なっております。ページを追って読み進むのが普通の読み方ですが、「牧師所感」は一昨年に頂いたⅠ巻と同じように、アットランダムに頁を開いて自由に読みます。時系列は気になません。前後自由に読み進むうちに、いつの間にか全部読み終えてしまうのです。自分でも不思議な読み方だと思っております。

ところで 所感 第5冊目は、今年の12月末日を持って、締めくくり、2025年新年を持って 出版する予定である。読者諸賢の幸せを祈る。